

地域が共に支え合う町 安心・安全の町づくり

森山地区社会福祉協議会 地域福祉活動計画



五穀公園から望む諫早平野

計画期間：令和3年度～令和7年度

森山地区社会福祉協議会

1. 森山地区の概況

【森山地区の概況】

森山地区は、島原半島の付け根に位置し、北は有明海の諫早湾、南は橘湾に面し、北に国道 57 号及び島原鉄道、南に国道 251 号に挟まれ交通量も多い。

基幹産業の農業は、北部では諫早干拓での米作、麦作、ハウス栽培によるミニトマト、路地栽培によるブロッコリー等が盛んであり、南部では施設園芸等、米作中心から多角的な大規模農業経営が顕著になってきている。

一方、社会福祉活動では、高齢者施設や障害者施設と小中学校・高校との福祉教育の交流は、支えあいや助け合いの心を育む機会になっている。森山老人福祉センターも高齢者や障害者のための交流の場としての大きな役割を果たしている。

【森山地区の良いところ】

- 小学生、中学生及び高校生の挨拶が心地よい。
- 小中学生の登下校時の見守り活動として登校ボランティア活動が地区毎に編成され継続的に取り組みが行われている。
- ネットワークあすなろは、日常生活では体験できない活動を通じて「自立・協調・健康・国際交流」を合言葉として、古民家を利用した「通学合宿」の生活体験塾を平成 12 年から始めて今日に至っている。
- 「花の会」は、町内の幹線道路沿いに季節の花を植栽し、公共施設には苗の頒布を行っている。1 年を通して町内には花が咲き、森山を訪れた人々に安らぎを与えている。作業には中学生の協力や地域住民が共に活動する姿がみられる。
- 各地区では、「鯉のぼり祭り」「郷土芸能の浮立、掛け打ち」、「精霊船づくり」など地域の 3 世代交流事業ともいべき住民による伝統継承が行われている。

【森山地区の気になるところ】

- 地域にある商店は、諫早市中心部への大型店舗の進出によって、地域の商店が少なくなり、高齢者にとって食料品・生活用品の買物ができなくなった。また、地域の商店は、地域住民の語らいの場でもあったが、場所がなくなり高齢者の孤立化が否めない。
- 隣近所同士の情報の共有が希薄になり、実情の把握が難しくなっている。
- 少子化による子ども会会員減少により、地域行事が機能しなくなる。
- 高齢化の進行により自治会役員や老人会への加入が不足気味である。

II. 森山地区社会福祉協議会の理念と重点目標

《森山地区社協の基本理念》

防減災まちあるき事業を通し 地域が共に支え合う町づくり

《森山地区社協の重点目標》

安心・安全の町づくり

- ◎重点目標1 高齢者等の出番と役割が発揮できる地域づくり
 - 「ふれあいいきいきサロン」の充実
 - 地域内での高齢者や障害者等の実情の把握に努め、誰もが住みやすい町に向けた取り組みを考えます
 - 地域の行事や伝統継承に世代間交流を通し、高齢者の知恵と支え合いの心を伝えます。

- ◎重点目標2 住民同士が支え合う地域の見回り活動
 - 高齢者等への時機に応じた支援体制づくり
 - 地域の危険箇所を互いに把握し、平時から支え合い活動を機能させ高齢者等の孤立化を防ぎ、問題を一人で抱え込むことがないように努めます。

- ◎重点目標3 災害時への構えづくり
 - 「防減災まちあるき事業」を積極的にすすめ、災害時の避難や要援護者への支援の在り方を住民参加型の実践を通して意識化を図る

Ⅲ. 森山地区に関する情報

1. 人口及び高齢化率

(単位:人、%)

	0~14	15~64	65~		合計	年少人口 割合	生産年齢 人口割合	老年人口 割合	75歳以上 割合
	①	②	③	うち75以上④					
男 性	321	1,284	730	291	2,335	13.7	55.0	31.3	12.5
女 性	275	1,361	1,022	577	2,658	10.3	51.2	38.4	21.7
合 計	596	2,645	1,752	868	4,993	11.9	53.0	35.1	17.4

(注) 諫早市住民基本台帳 (R3. 4. 1現在) 諫早市HPより作成

2. 森山地区社会福祉協議会の主な事業

(1) ふれあいいいききサロン

(単位:回、人)

	サロン	開催場所	開催回数	参加者	開催時間
1	けいしのいきいきサロン	森山町慶師野	12	17	13:30~15:00
2	なかよし会	” 本村	12	11	13:00~16:00
3	喜集会	” 本村	12	12	13:00~16:00
4	な釜会	” 田尻	23	12	09:30~11:30
5	さくら会	” 田尻	12	12	13:00~16:00
6	干拓いきいきサロン	” 田尻	12	9	13:30~16:30
7	平石サロン	” 田尻	12	15	14:00~16:30
8	小原木曜会サロン	” 唐比	24	8	10:00~15:00
9	唐比コスモスサロン	” 唐比	12	13	10:00~15:00
10	巡川公民館サロン	” 唐比	24	10	13:30~16:00
11	にこにこサークル (ゆびきりげんまん)	” 下井牟田	24	19	13:00~16:00
12	峰サロン	” 下井牟田	12	19	09:30~12:00
13	よろう会	” 下井牟田	12	21	09:00~12:00
14	駅前サロン	” 下井牟田	12	13	11:00~12:00
	合 計		215	191	

(注) 令和3年度活動計画より

(2) 子育てサロン

(単位：回、人)

	サロン	開催場所	開催回数	参加者	開催時間
1	おーどぼーS	森山公民館	10	17	10:00~12:00

(注) 令和3年度活動計画より

(3) 主な事業 (令和3年度計画)

	事業	実施時期	対象者	備考
1	ひとり暮らし高齢者新米配付	8月	独居高齢者	70歳以上 約140人
2	金婚夫婦表彰	9月	金婚夫婦	
3	ふれあいグラウンドゴルフ大会	11月	老人会・子ども会	
4	防減災まちあるき事業	11月	唐比自治会	
5	ひとり暮らし高齢者もち配付	12月	独居高齢者	70歳以上 約140人
6	ひとり暮らし高齢者食事サービス	2月	独居高齢者	70歳以上 約140人
7	地域福祉セミナー	年4回	希望者	
8	社協だよりの発行	年4回	町内全世帯・関係機関配付	

《事業についての評価と課題》

- 金婚夫婦表彰：自治会からの申込みを受けて表彰を実施。好評である。
- グラウンドゴルフ大会
：児童数の減少により子ども会単独チーム編成が困難になってきた。
- 防減災まちあるき事業
：防災・減災の視点で地区住民の意識改革と高齢化への危機意識が生まれる。

3. 福祉協力員

- 成果・・・複数の担当者で対応できるのでそれぞれの持ち味が発揮できる。
- 課題・・・民生委員と協力員の関係性が、指示待ちになったり、自発性を発揮しづらいなどの声がある。

IV. 今 後 の 抱 負

～防滅災まちあるき活動の具体的な活動の推進～

高齢社会がますます深刻化するなかで、高齢者の出番や役割づくりの地域づくりがより重要になってくる。

そこで住民同士がお互いに支え学びあう地域づくりの中心に参加型の「防滅災まちあるき事業」をさらに推し進め、地域住民が積極的に参加し実践する「森山」を目指したい。

防滅災まちあるき事業は、平成 19 年度（2007 年）に長崎県社会福祉協議会が「防滅災を核とした認知高齢者等を支える小地域活動支援事業」を諫早市社会福祉協議会に委託し、諫早市社協が防滅災の地域活動のモデル地区として森山地区社協を指定したことから始まる。森山地区の 7 地区を毎年 1 地区ごとに巡り、該当地区を更に小集団に分け担当地区を指定している。該当地区の住民が自分たちの地区のこととして捉え、実際に地区を歩き、五感をフルに活用し「防災マップ」に情報を書き込み、自分たちに必要な「防災マップづくり」を体験している。今年度で活動開始以来 14 年目を迎え、各地区が 2 巡目に入っている。

当初より長崎ウエスレヤン大学の佐藤快信教授に指導を受けているが、今後は地域が組織的に活動できる環境づくりを目指し、各地区の「まちづくり」のなかに「防滅災まちあるき事業」を通して災害が発生したときの「問題や課題」に関心を持ち、ひとり一人が「まちづくりに何をなすべきか」を考える機会にしていきたい。

